

Ⅲ 令和7年度重点施策

◆令和7年度においては、特に重点的に取り組んでいく5つの重点施策を掲げ、教育環境のさらなる充実や、現下の教育課題等の克服に向け、積極的な施策展開を図ります。

1 文理横断的・探究的な学びの推進

社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日、学校教育においては、文系・理系の枠にとらわれず、様々な情報を活用しながら、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質能力の育成が求められています。

このため、令和7年4月に県立高校6校に設置する文理探究科の取組を充実させるとともに、その成果を小中学校を含め広く普及し、組織的な教育活動として展開することで、文理横断的・探究的な学びの充実を県内全域において推進します。

2 いじめ・不登校等対策の一層の強化

コロナ禍の影響や社会構造の変化等を背景に、いじめ重大事態発生件数や不登校児童生徒数が過去最多を更新するなど、いじめ・不登校等への対応は喫緊の課題となっています。

このため、これまでの対策を大きく見直し、未然防止、早期発見・早期対応に向けた組織的な取組を充実させるとともに、不登校児童生徒に対し、多様な教育機会を提供することで、誰一人取り残されない学校づくりを推進します。

3 「やまぐちスマートスクール構想2.0」の推進

社会のデジタル化やデジタル技術の急速な進展に的確に対応した施策展開を通じて子どもたちの可能性を最大限に広げるため、さらなるICT活用を支えるデジタル学習基盤の整備をベースに「やまぐちスマートスクール構想」をアップデートし、デジタルを活用してリアルな学びの充実を図ります。

4 教員確保と学校における働き方改革の推進

教育課題の複雑化・困難化に伴い、教員が抱える業務も多くなるとともに、長時間労働のネガティブなイメージの浸透等により、本県においても教員不足が課題となっています。

このため、教員採用試験の志願者増加を図り、本県教育を支える教員の確保に向けた取組を充実させるとともに、教員が子どもたちと向き合う時間を確保し質の高い教育を提供できるよう、学校における働き方改革を推進します。

5 魅力ある教育環境づくりの推進

中学校卒業生数の継続的な減少が見込まれる中、学校・学科の再編整備等に対応するため必要となる施設の整備と老朽化対策に一体的に取り組むことで、質の高い魅力ある教育環境づくりを推進します。

1 文理横断的・探究的な学びの推進

新 DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業

10,000 千円

新たな価値を創造する人材の育成に向け、ICT・AI等を活用し、文理横断的・探究的な学習の高度化を図り、その取組・成果を広く県内に発信・横展開することで、探究的な学習活動を推進します。

■ 中核教員の育成

- 文理横断的・探究的な学習の効果的な指導方法等、中核教員を育成する研修の実施

■ 探究的な学習の高度化

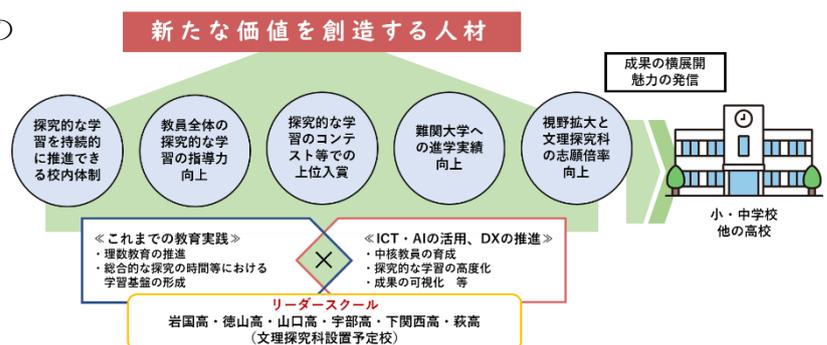
- 探究的な学習の質を向上させるための生徒を対象とした講座の開催

■ 成果の可視化

- 調査・分析・フィードバックによる学習成果の可視化

■ 成果・魅力の発信

- 小・中・高生に対し、探究的な学習の取組、成果や魅力を発信



新 学校マネジメント力強化推進事業

5,880 千円

子どもが新たな時代に社会で活躍するために必要な力を身に付けることをめざし、校長のマネジメント力の強化など、教員同士が学び合う環境を構築することで、組織的な教育活動の実践を推進します。

■ 新たな学びの推進

- 市町立小・中学校の校長等管理職を対象とした学校マネジメントに関する研修の実施
- 組織的な教育活動の校内実践による、多様な他者と協働した探究的な学びや、教科等横断的な学びといった、新たな学びの推進

■ 「やまぐち型伴走支援」の推進

- 指導主事等を対象とした学校支援に関する研修の実施により、学校の新たな学びの推進に向けた取組を支援
- 「やまぐち型伴走支援の手引書」の作成・活用による、県内全ての公立小・中学校の教育水準の維持・向上



《探究的な学びの授業風景》

やまぐち高大パートナーシップ強化事業

3,224 千円

高校と県内大学との連携を一層強めることにより、県内大学の学部・学科等の理解につなげ、主体的な進路選択による県内大学への進学意識の向上を図り、若者の県内定着を促進します。

■ 高校と県内大学の年間を通じて連携した教育活動の実施

- 高校と県内大学との定期的な連携により、県内大学への主体的な進路選択を促進

[対象] 県立高校等

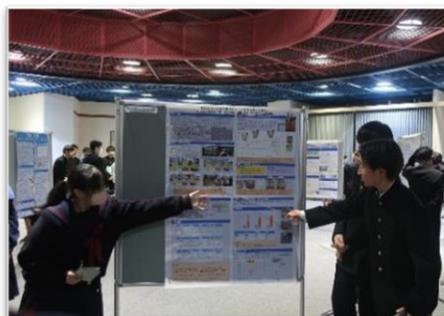
[内容]

《高大パートナーシップ授業》

- ・ 県立学校と県内大学が連携し、高校が設定したテーマに基づく授業を、年3回程度実施

《新たな学び創出コンペティション》

- ・ 大学での学びに必要な課題発見・解決能力の育成に向け、県内大学等と連携した内容や研究成果等について発表・協議する大会を開催



やまぐち燦めきサイエンス事業

6,333 千円

将来の国際的な科学技術系人材を育成するため、科学技術に対する興味・関心の喚起や体験的・探究的活動の充実など、質の高い系統的・継続的な理数教育の推進を図ります。

■ ヤング・サイエンティスト拡大事業（YSE事業）

- 山口大学や地域の産業界と連携した科学教室の実施
- 科学教室に高校生が講師として参加

■ やまぐちサイエンス・サポート事業（YSS事業）

- 体験的・探究的な教育活動の展開
- 大学や研究所などの外部専門機関との連携

■ やまぐちサイエンス・チャレンジ事業（YSC事業）

- やまぐちサイエンス・キャンプの開催
- 「科学の甲子園・科学の甲子園 Jr」山口県大会の開催



地域連携教育再加速化事業（一部）

12,016 千円

県立高校等の「総合的な探究の時間」において、地域・社会と連携・協働した取組を実施し、実社会や実生活において生きて働く資質・能力の育成をめざします。

■ やまぐち型社会連携教育推進事業

- 県立高校等において、社会と連携・協働した「総合的な探究の時間」を実施

[対象] 県立高校等

[内容] ・ 社会と連携・協働した「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発

- ・ リアルな体験を通じた多様な他者との「協働的な学び」の実施



2 いじめ・不登校等対策の一層の強化

新 誰一人取り残されないいじめ不登校対策事業

228,735千円

いじめ等の問題行動や不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に向け、アウトリーチ型の相談支援の実施等により、様々な困難を抱える全ての児童生徒が安心して学ぶことのできる学校づくりを推進します。

■ アウトリーチ型支援による教育相談体制の充実

- アウトリーチ型の相談支援体制の構築
 - ・全中学校区及び全県立学校へのスクールカウンセラー（SC）の配置拡充
 - ・スクールソーシャルワーカー（SSW）による児童生徒・家庭への支援体制の充実
 - ・エリアスーパーバイザーによる市町SSWへの指導助言及び県立学校支援
 - ・ファミリー・リレーションシップ・アドバイザー（FRアドバイザー）の派遣
 - ・全公立学校でSCによる「心理教育プログラム」等の心の教育を実施
 - ・小学校の就学時健診等へのSC派遣
- 「心の健康観察アプリ」の導入
 - ・1人1台タブレット端末を活用した「心の健康観察アプリ」の全ての県立学校への導入
- いじめ不登校等未然防止教育の充実
 - ・多様化・複雑化するいじめ・不登校に関する研修会の実施 等

■ 不登校等児童生徒に対する校内の居場所づくり

- 市町が設置する校内教育支援センターの設置促進
 - ・自分のクラスに入りづらい児童生徒の学校内の居場所となる小中学校の「校内教育支援センター」の設置促進に向け、支援員を配置する市町に対する支援
- [実施主体] 市町
[補助率] 国1/3、県1/3、市町1/3
[補助対象] 支援員の配置に係る報償費等

- 不登校対策のためのステップアップルームの取組強化【後述】
 - ・通常学級での学習や集団の生活が困難となった生徒の個別支援を行う「ステップアップルーム」にサポート教員を配置



■ 学校を支える組織的な対応の強化

- 緊急対策チームからの専門家派遣
 - ・重大事態等に対してSC、SSW等の専門家の派遣による、心のケア・早期復帰の支援
 - ・SC、SSW合同研修会による外部専門家の資質向上及び連携強化
 - ・学校だけでは解決困難な問題への緊急対応等のために、臨床心理士等の専門家を学校に派遣
 - ・個別のいじめ事案への直接的な対応等を行う「いじめ対策マイスター(警察OB)」配置
 - ・困難事案等に対し、解決策の整理などの伴走型の支援を行う「学校問題解決支援コーディネーター(学校管理職OB)」の配置 等
- 法に基づく県のいじめ対策組織の運営
 - ・「山口県いじめ問題対策協議会」の開催、「山口県いじめ問題調査委員会」の運営

- スクールロイヤーによる支援体制の強化【後述】
 - ・教育行政に係る法務相談等を行う弁護士を配置

拡 不登校対策のためのステップアップルームの取組強化

給与費

中学校において、通常の学級での学習や集団での生活が困難となった生徒のための教室「ステップアップルーム」に、指導経験豊富な専属教員（サポート教員）を配置します。

拡 個別の学習支援を行うサポート教員の配置

- 県内の中学校に配置するサポート教員を25人から35人に拡充することで、教室への復帰や不登校の未然防止、集団生活への適応についての取組・支援を強化

■ サポート教員アドバイザーの配置

- 経験豊富なサポート教員の中でも特に充実した支援を行っているサポート教員をアドバイザーとして他のステップアップルーム設置校や未設置校に派遣

■ 不登校等生徒への支援の充実にに向けた連絡会議の開催

- ステップアップルーム設置校や市町教育委員会を対象とした、不登校対策の取組やステップアップルームにおける取組・支援の好事例についての連絡会議の開催

新 スクールロイヤーによる支援体制の強化

4,139千円

いじめ対応など法務の専門家への相談を必要とする事案に対応するため、県教委内に弁護士を配置し、教育行政に係る法務相談等の支援体制を強化します。

■ 教育全般に係る法務相談等の支援体制の強化

- 学校におけるいじめ対応やハラスメント相談など教育全般に係る法務相談の実施
- 学校現場を訪問し、学校だけでは解決困難な事案への対応に係る法的な助言など、初期対応の段階から支援を実施

■ いじめ等の生徒向け及び教職員向けの研修の実施

- いじめに係る生徒向けの未然防止や教職員向けの初期対応等に関する研修の実施

中学校及び高校0年生からの教育相談事業

34,038千円

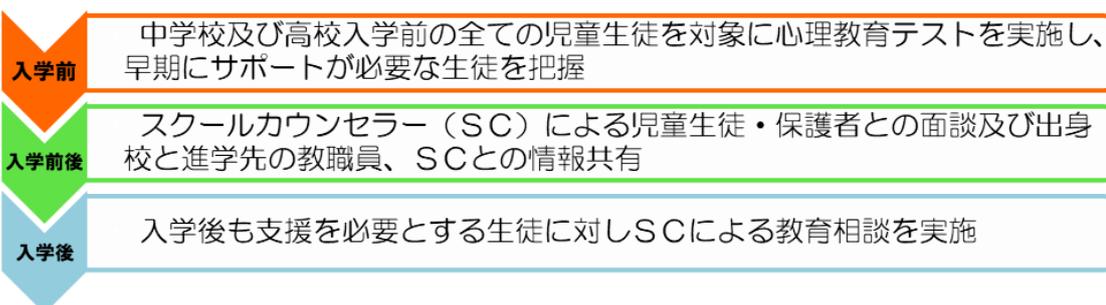
中学校及び高校の入学前後の児童生徒に対し教育相談を実施するなど、切れ目のない支援体制を構築することで、いじめや不登校等の未然防止に係る教育相談体制の充実に努めます。

■ 切れ目のない教育相談体制の構築

- いじめの認知件数が中学校・高校ともに1年生が一番高いことから、入学前の児童生徒（0年生）を対象に教育相談を行うとともに、入学後も支援を実施

[対象] 公立中学校及び公立高校入学前の児童生徒

[支援イメージ]



3 「やまぐちスマートスクール構想 2.0」の推進

新 高校段階における1人1台端末整備のBYAD化

債務負担行為

(限度額 210,086 千円、期間 R7~R8)

県立高校等の1人1台端末の整備に係る費用を保護者負担へ移行するにあたり、端末購入費の一部を支援するとともに、低所得者世帯を対象とした支援を実施します。

■ 高校段階の1人1台端末のBYAD化

- 県立高校等の1人1台タブレット端末について、生徒一人ひとりにあつた活用を一層促進するため、令和8年度入学生からBYAD（指定された端末を個人が私費で購入し、学校及び家庭で活用）に順次移行

■ 端末購入費の支援の概要

- 学習活動に必要な性能を有した端末の購入に係る手続きの簡素化や費用負担の軽減を図るため、県教委指定業者の専用ウェブサイトを開設し共同調達を実施することで、保護者の負担を軽減
- その上で、ウェブサイトでは、本体価格から補助金相当額を控除した価格で端末を販売することを想定

① 全世帯向け端末購入費補助

区分	県立高校・中等教育学校（後期課程）	特別支援学校（高等部）
対象	入学者全員	入学者全員
補助率	端末購入費の1/3	定額 就学奨励費(※)

※ 障害のある児童生徒が特別支援学校等で学ぶ際に、保護者等が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等に応じ、国及び地方公共団体が補助する仕組み。

② 低所得者世帯向け端末購入費補助

区分	県立高校・中等教育学校（後期課程）	特別支援学校（高等部）
対象	住民税非課税世帯等	就学奨励費における 支弁区分Ⅰの世帯
補助率	定額（保護者負担分）	定額（保護者負担分）

山口県公立学校情報機器整備基金積立金

R6 補正：1,506,202 千円

義務教育段階における1人1台タブレット端末等の更新を計画的に進めるため、国の補助金を原資に造成した基金を効率的に運用します。

■ 義務教育段階における1人1台タブレット端末等の更新（国補助制度）

[事業期間] 令和5年度～令和10年度

[補助対象] 小・中学校段階（特別支援学校を含む。）

区分	補助基準額	補助率
1人1台タブレット端末	5.5万円/台	国2/3、設置者1/3
入出力支援装置	定額補助	国10/10

デジタルを活用してリアルな学びを充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想 2.0」の推進を図るため、デジタル人材の育成や教員のICT活用指導力の向上などに取り組みます。

■ ICT支援員の派遣

- 教職員の日常的なICTの活用をサポートするICT支援員を配置し、学校へ定期的に派遣

■ 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」の設置

- 教職員から電話やオンライン等で問合せを受け付けるヘルプデスクを設置
- 教職員やICT支援員に対する研修の実施
- 端末の故障対応や運用管理、年次更新等をサポート
- ※ 県及び11市町・山口大学による共同設置

■ やまぐちICT活用コンテスト等の開催

- ICTの活用促進やスキル向上等を図るため、小・中・高校生を対象としたコンテストを開催
- コンテストに向けて、アイデアの創出や応募作品の洗練を行うワークショップを開催
- コンテストで経験を積んだ先輩が参加者を支援することで、憧れの好循環を創出



■ AIイノベーター育成講座の開催

- AI時代に対応したデジタル人材を育成するため、高校生を対象としたセミナーを開催
- 起業家等と直接交流する機会を創出することで、高校生のキャリア意識を醸成

[対象] 高校生
 [内容] 基礎講座：AI技術の講義、AIを利用したデータ分析演習
 応用講座：基礎講座の修了者を対象とした発展的な講座



■ 1人1台タブレット端末の更新に係る市町への支援

- 「山口県公立学校情報機器整備基金」を活用し、市町へ補助金を交付するとともに複数市町での共同調達を支援することで、市町における1人1台タブレット端末の計画的な更新を推進

《令和7年度更新予定》

対象市町数	更新対象台数
11	約61,000台（予備機分含む。）

県立学校のネットワーク高速化により、さらなる教育DXの推進が可能な環境を構築します。

■ 県立学校のネットワークの高速化

- 県立学校の学習系ネットワークを、「^{サイ ネット}学術情報ネットワークSINET（以下「SINET」）」に接続することで、1人1台端末を接続するネットワークを高速化（R7接続対象36校）

■ 高速ネットワークを活用した教育DXの推進

- 高速ネットワークによるデジタル活用事例を収集・横展開することで教育DXを推進

[SINET接続によるデジタル活用事例]

デジタルを活用した理科の実験の時間や回数の増加等による授業の充実

生成AIや各種クラウドサービスを活用した大規模オンラインイベントの開催

拡 生成AIを活用した家庭と学校の学びの好循環創出事業

生成AI・学習アシスタントアプリを活用することにより、個に応じた学習支援を充実させることで、家庭における「学び」と学校における「学び」の好循環を創出し、子どもの「主体的に学習に取り組む態度」「思考力・判断力・表現力」の育成を図ります。

拡 生成AIを活用した家庭学習の支援

- 令和6年度のモデル校での実証の成果と課題を踏まえ、県内全公立中学校において、生成AI・学習アシスタントアプリ（以下アプリ）の普及にむけた導入を実施

[アプリの特徴]

生成AIが直接答えを教えずに、ユーザーとともに考え方や解き方を導いていくアプリ

生成AI・学習アシスタントアプリ

～「問い」を軸にした「対話」で「考える力」を伸ばす～

<アプリの特徴>

- 直接答えを返さずに学習をサポートすることで、思考を深めたり広げたりする。
- 指示に応じて細かなアドバイスや解説等もくれる。
- 不適切な「質問」等には回答しない。



生成AIが個々の状況に応じて学習をアシスト

<活用例>

- ・ 問題を入力して（画像に読み取って）質問する
- ・ 作文などの添削を頼む
- ・ 英会話の相手や英文の添削を頼む
- ・ 調べ学習の内容や調べ方を質問する



■ やまぐちっ子家庭学習推進協議会の開催

- 子どもたちの家庭における学びの現状を把握し、有効な家庭学習の在り方や家庭と学校の学びの好循環に向けた方策等を協議・普及

[構成]

教員・保護者・有識者

[協議内容]

求められる資質・能力、望ましい家庭学習習慣、生成AIを活用した学習の在り方 等

■ 生成AI活用スキルアップ研修の実施

- 生成AI活用にあたっての留意事項の共有や効果的な活用方法の習得を行う教員対象の研修会を開催

[研修内容]

生成AIを活用した学習活動、教育情報セキュリティ、情報モラル 等

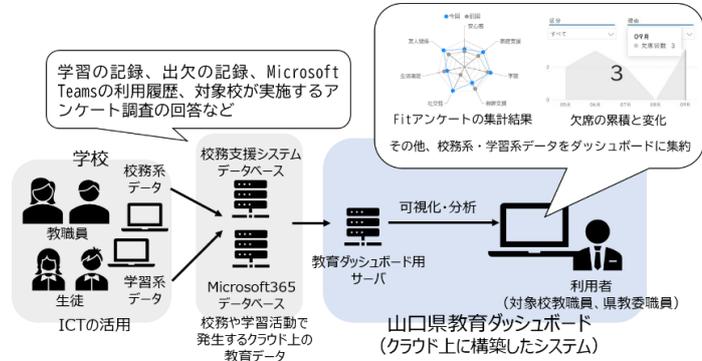
次世代の教育環境デジタル化推進事業

17,590 千円

県立学校のフルクラウド環境の利点を生かし、教育データを活用することで児童生徒一人ひとりに合った学びを支援します。また、クラウドサービスを校務に活用することで、教職員の働き方改革を一層推進します。

■ 教育データの活用

- 児童生徒の主体的な学びの支援や誰一人取り残されない学びの実現に向け、教育活動で蓄積される学習の記録や出欠の記録等の教育データを一元的に可視化・分析する教育ダッシュボードを運用



■ 採点事務のデジタル化

- 定期考査等の採点業務における正誤判定の効率化や集計作業の自動化による採点時間の短縮と、採点結果を可視化し児童生徒の学習指導の充実を可能にするクラウド型採点システムを運用

DXハイスクール推進事業

158,000 千円

高校段階におけるデジタル等の成長分野を支える人材育成の強化を図るため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、文理横断的・探究的な学びを強化する教育活動の充実などデジタル人材育成に向けた環境整備を推進します。

■ 高校等のデジタル人材育成環境の整備

- 専門人材の招へい等の教育活動の充実に係る経費
 - ・ データ分析等のノウハウを有する大学等から専門知識が豊富な人材を学校に招へいし、生徒に充実した指導を提供
 - ・ 生徒や教員が大学やデータ分析に係る企業等を視察し、ノウハウに直接触れる機会を創出
 - ・ 指導力や機器の使用スキル向上を図るため、専門機関等での教員研修を実施
- ICT機器等の整備
 - ・ データ処理能力の高いパソコンや3DプリンタなどのICT機器等を導入し、授業や課外活動におけるデジタルに係る実験・実習を充実



[対象]

県立高校等 (継続校：8校、新規校：10校程度)

[補助率]

継続校 10/10 (基本類型：上限500万円/校、重点類型：上限700万円/校)

新規校 10/10 (基本類型：上限1,000万円/校、重点類型：上限1,200万円/校)

4 教員確保と学校における働き方改革の推進

新 公立高校入学者選抜WEB出願システム導入事業

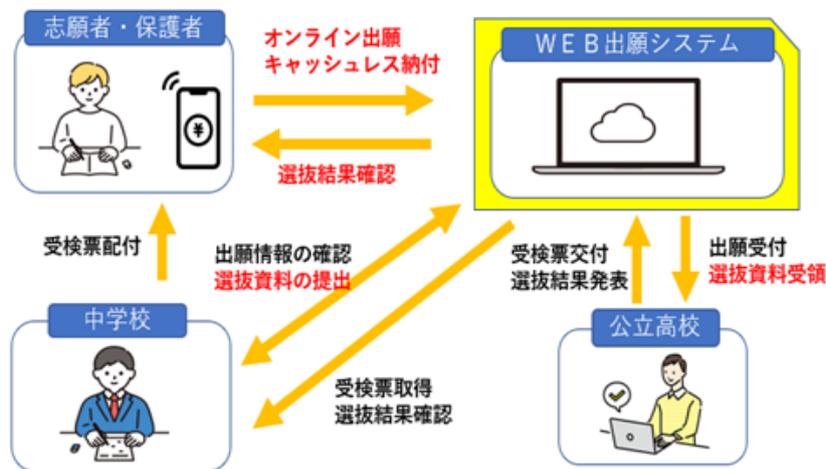
43,338千円

入学者選抜手続きのデジタル化を進め、Web上で出願の手続きが完結する環境を整備することで、生徒・保護者の利便性向上と、中学校・高等学校教職員の抜本的な負担軽減を図ります。

■ 志願者・中学校・公立高校をつなぐ「WEB出願システム」の導入 (令和7年度に実施する入学者選抜から運用開始)

- 志願者・保護者の利便性向上のため、システムによるオンライン出願及び入学試験料のキャッシュレス納付を実施
- 志願者のプライバシーに配慮し、システムにより個人ごとに選抜結果を通知
- 教職員の業務負担軽減のため、校種間における文書授受の電子化を推進

《「WEB出願システム」イメージ》



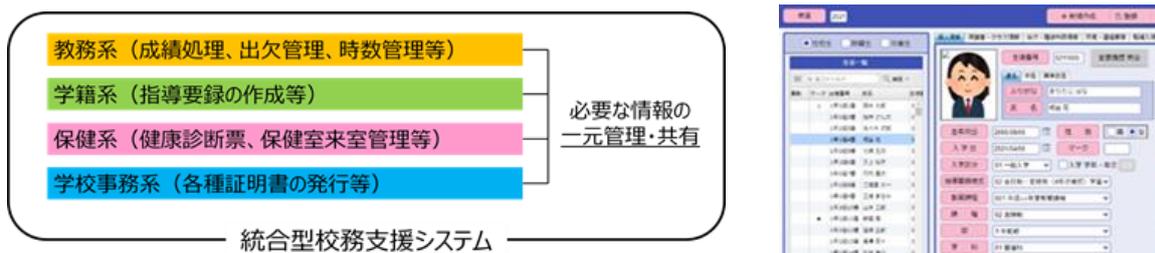
統合型校務支援システム管理運営費

64,431千円

「統合型校務支援システム」を全ての県立学校で運用し、出欠管理や成績処理等の校務の効率化を進めます。

■ 全県立学校での統合型校務支援システムの運用

- 生徒の基本情報、出欠管理、成績管理（定期考査、通知表等）のデータを一元管理



《市町立学校等でのシステムの共同利用を支援》【予算外】

- ・ 県内全19市町・山口大学による統合型校務支援システムの共同利用を支援

拡 教員業務支援員の配置

141,835 千円

教員の長時間勤務を是正し、学校の指導・運営体制のさらなる充実を図るため、教員の事務的業務を補助する教員業務支援員を配置する市町を支援するとともに、県立高校等に配置します。

■ 教員業務支援員の配置

[配 置]

拡 教員業務支援員配置支援事業：市町立小・中学校への配置（409人）

○ 教員業務支援員配置事業：県立高校等への配置（7人）

[業務内容]

印刷等業務、学習・学級事務業務、集計・データ入力等業務 等

拡 教職員採用等選考実施費

23,453 千円

本県の「求める教職員像」に示す資質能力を備えた人材の確保に向けて、教員採用候補者選考試験を着実に実施します。

拡 教員採用候補者選考試験の改善

- 試験日程の早期化(約2カ月前倒し)
- 第一次試験における大学3年生受験制度の導入



■ 大学訪問及び大学生向けガイダンス等の実施

- 県内外の大学を訪問し、本県の教員を志望する大学生を対象としたガイダンス等を実施

人づくりを支える教師確保推進事業

12,738 千円

教員志願者の著しい減少による教員不足の問題を解消していくため、教員採用試験の志願者の増加等を図り、本県の人づくりを支える教員の確保を推進します。

■ 魅力PR動画「先生になるなら“やまぐち”で！」の配信

- 現職教員インタビューによる教職の魅力ややりがい、山口県教育の魅力を分かりやすく伝える動画の配信

■ 教職に就いていない免許保有者等に向けた教職入門セミナーの実施

- 教職に就いていない免許保有者等が、教員の仕事や給与・共済制度、採用試験、臨採登録等について学ぶとともに現職教員と交流するセミナーの開催

■ 教員免許未取得者を対象とした特別選考の実施及び免許取得に係る経費の支援

- 教員採用試験において、教員免許未取得者が受験できる特別選考を実施し、特別選考合格後の教員免許取得に対する費用を補助



5 魅力ある教育環境づくりの推進

新 県立学校施設等の照明LED化関連事業

3,525,234千円

脱炭素社会の実現と教育環境のさらなる向上に向け、県立学校や社会教育施設等の照明LED化を進めます。

■ 県立学校施設等の照明LED化

[対象施設] 県立学校、山口図書館、山口博物館、青少年自然の家 等

[整備内容] 照明のLED化

■ 照明器具の落下防止対策（非構造部材の耐震対策）を併せて実施

- 照明器具を吊り下げ型から直付け形へ改修
- 体育館等の高所に設置された照明に脱落防止ワイヤを設置

《改修前》



《改修後》



【参考】照明器具に占めるLED化率（R6.7月現在）

分類	LED化率（概数）
高等学校	18%
総合支援学校	26%
博物館	6%
図書館	2%
青少年自然の家	12%

新 県立学校施設等のトイレ洋式化（総務部一括計上）

372,000千円

ライフスタイルの変化への対応や良質な教育環境を確保するため、県立学校や社会教育施設のトイレの洋式化を進めます。

■ 県立学校施設等のトイレ洋式化

[対象施設] 県立学校、山口図書館、山口博物館、青少年自然の家

[整備内容] 和式便器の洋式化（暖房便座、温水洗浄機能付き）、トイレブースの改修 等

■ 洋式化における基本的な考え方

- 原則、既設の和式便器を洋式化
- 一部に和式を望む意見があることから一定数の和式便器を残置

《洋式化のイメージ》



《バリアフリートイレの整備例》



【参考】トイレ洋式化率（R6.9月現在）

分類	トイレ洋式化率（概数）
高等学校	49%
総合支援学校	83%
博物館	50%
図書館	71%
青少年自然の家	52%

より質の高い高校教育を提供するための学校・学科の再編整備や児童生徒の増加に伴う総合支援学校の教室不足に対応するために必要な施設整備を進めるとともに、安全で快適な学習環境を整備するため、施設の長寿命化・老朽化対策や非構造部材の耐震対策等を実施します。

■ 質の高い魅力ある教育環境の整備

- 高校再編整備
 - ・ 「第3期県立高校将来構想」に基づく学校・学科の再編整備や、併設中学校設置に必要な施設整備を実施
- 総合支援学校における教室不足対策等
 - ・ 児童生徒の増加に伴う施設狭隘化解消や職業教育の充実に向け、施設の移転整備等を実施
- 空調設備整備
 - ・ 夏季における良好な教育環境を確保するため特別教室に空調設備を整備

■ 安心・安全な教育環境の整備

- 長寿命化・老朽化対策
 - ・ 老朽化施設の建替整備や非構造部材の耐震対策等の実施
- 非構造部材の耐震対策
 - ・ 定期点検結果等を踏まえ、外壁等の非構造部材の落下防止対策工事等を実施
- その他
 - ・ 法面危険箇所改修、多目的トイレの整備等を実施

区 分	予算額	摘 要
質の高い魅力ある教育環境の整備		
高校再編整備	2,403,673	柳井、岩国、下関西ほか
総合支援学校教室不足対策等	369,800	山口総支、豊浦総支ほか
空調設備整備	189,034	県立高校等
安心・安全な教育環境の整備		
長寿命化・老朽化対策	2,104,826 (再掲 1,331,782)	防府総支、宇部中央ほか
非構造部材の耐震対策	754,360 (再掲 754,360)	岩国総合、山口農業ほか
その他	230,864	岩国工業、大津緑洋ほか

